

## 上州真田武将隊の活動拠点「松之屋」が中町にオープン 空き店舗を活用し観光PRやグッズを販売

中町の空き店舗を活用し、沼田市の観光PRやイベントへの参加、小松姫や真田信之などのグッズを販売する「松之屋」がオープンしました。

「松之屋」は13日にオープンし、中心市街地空き店舗活用事業を活用しての店舗は4店舗目となりました。

店舗名の「松之屋」は、沼田城主の真田信之と妻の小松姫から一文字ずつ取ってつけられました。

上州真田武将隊にとっては、初めての活動拠点なり、今後の活躍が期待されています。



## 威勢のいいかけ声に誘われ福を求めだるま市にぎわう

沼田市新春恒例行事の「沼田だるま市」が16日、本町通りで開かれ、天候にも恵まれ多くの人出でにぎわいました。



だるまや縁起物、食べ物などの露店が約30店ならび、威勢のいいかけ声が飛び交うなか、訪れた人はだるまを選んでいました。

午後2時から須賀神社で、「だるま供養」がおこなわれ、無病息災や商売繁盛、家内安全を見守ってきただるまのおたき上げが、神事後おこなわれました。

## 市の大会出場めざし上毛かるた地区大会

21日におこなわれる「沼田市上毛かるた大会」の出場をめざし14日、沼田地区(写真)、利南地区、池田地区、薄根地区でそれぞれ地区大会が開かれました。

川田地区と白沢町は12月、利根町は13日にそれぞれ地区の大会が開かれました。

21日の市の大会では、2月の県大会出場をめざします。



## 無病息災 家内安全を願ってどんど焼き

どんど焼きが14日、市内各所で開かれ、一年間の無病息災などを願う地域の住民が参加しました。



上原町では児童公園で午前7時、やぐらに点火され、無病息災などを願いました。

参加者には、甘酒やもち、するめなどがふるまわれました。

2018年1月21日

NO. 554

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



「アベノミクス」によって大企業や大資産家がもうけや、ため込みを増やす一方で、国民のくらしは悪化し格差と貧困は拡大するばかりです。

後はほとんどの月で前年比マイナスです。

こんにちは。安倍首相は、新年になってからも記者会見やインタビューで、「雇用が増え、有効求人倍率はすべての都道府県で1倍を超えた」「国内総生産(GDP)も増加し、過去最高になった」などと、「アベノミクス」を自賛する発言を繰り返しています。

7日のNHKのインタビューで司会者から、所得や消費が減っていることについて質問されても、まともに答えられず、都合の悪い真実には触れようとしません。

労働者の実質賃金は、安倍首相が政権に復帰した時の、年間391円から最近では、377万円にと14万円も減少し、一世帯あたりの実質消費支出も20万円減少しています。

勤労者の実質賃金はほぼ毎月1年前を下回り、家計の消費支出は14年4月の消費税増税後はほとんどどの月で前年比マイナスです。

こんにちは 大東のぶゆき です



## 続ぶらり散歩 めまた道 白沢町あれこれ 特別編その六

### 下古語父の諏訪神社

諏訪神社、武尊神社は、利根沼田地域に多く見られる神社で、白沢町でも圧倒的に多い神社です。

高平の白佐波神社、生枝の生枝神社、岩室の岩室神社、下古語父の諏訪神社には両社が祀られています。



下古語父の諏訪神社には、諏訪宮とともに武尊宮、稲荷宮、菅原宮などが祀られ、本殿に向かって右側に稲荷宮があり、左側には石の祠がたくさんあります。

諏訪神社の舞殿(写真上)と宝篋印塔(写真下)は、市指定の重要文化財に指定されており、舞殿は鳥居をくぐり第一の石段を登った所にあり、神社と相對し、間口5間半、奥行三間半、床高約1.5m、せり出しの舞台のしかけがあります。



宝篋印塔は、鳥居手前の石像仏群のなかにあり、宝永元年(1704)に建てられたもので、形が整っています。

石像仏群のなかには、馬頭観音、如意輪観音、庚申塔、馬頭観音、地藏尊、道祖神などがあり、神仏合祀の形態が残されています。